

Enterprise Capacity 3.5 HDD

データ・シート

大容量データ・アプリケーション向け容量最適化済みエンタープライズ・ハードディスク・ドライブ

- 旧世代を50%以上上回る最高6TBの大容量を備え、データ量の拡大に対応するラージ・フォーム・ファクタ・エンタープライズ・ドライブ¹
- クラス最高のランダムおよび連続読取り/書き込み性能を備えた高速大容量HDD
- 非構造化データをもつ大容量ストレージに信頼性の高い形でアクセスできる第8世代のドライブ技術
- 12Gb/秒SASとSATA 6Gb/秒の両インターフェイスが複製RAIDストレージ・システムへの簡単な統合を実現
- 高度なエラー修正、スーパー・パリティ、エンドツーエンドのSASベースのデータ保全性により、正確なデータ・ストレージを実現
- 業界トップクラスの耐回転振動性能により、一貫した性能を保証
- T10/T13電源管理基準に基づく低電力消費および高度なPowerChoice™ 技術により、高い電力効率と冷却効率を実現
- デスクトップ・ドライブの10倍、年間550TBの常時稼働負荷に対応する設計
- あらゆるシャーシで最適なパフォーマンスを実現するデュアル・プロセッサ、ランプ・ロード・テクノロジー、上部カバー付きモーター、湿度センサーによる強力なパフォーマンス
- データを安全に保護しながらドライブを破棄する際のITコストを削減するSeagate Instant Secure Erase機能を搭載し、FIPS 140-2認証を得た自己暗号化ドライブ (AES-256)^{2, 3}

最適なアプリケーション

- 超大型アプリケーション
- 大容量RAIDストレージ
- メインストリーム・エンタープライズ外付ストレージ・アレイ (SAN、NAS、DAS)
- クラウド・データセンター (複製大容量データ・ストレージ)
- エンタープライズ・バックアップおよび修復 (D2D、仮想テープ)
- 中央集中型の監視



¹ Seagateでは、全容量を活用できるようにするために、貴社の設定をHBA/RAIDコントローラ・メーカーに検証していただくよう推奨しています。

² 自己暗号化ドライブ (SED) およびFIPS 140-2 Validatedドライブは、モデルまたは国によってご利用いただけない場合があります。一部のモデルは、TCG準拠のホストまたはコントローラが必要となります。

³ FIPS 140-2は現在評価中です。以下で140-2レベル2証明をご参照ください： <http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/1401val2011.htm#1635>

Enterprise Capacity 3.5 HDD



仕様	SATA 6Gb/秒			
	6TB ^{1, 2}	5TB ^{1, 2}	4TB ^{1, 2}	2TB ¹
標準モデル番号 (4Kネイティブ)	ST6000NM0004	—	—	—
標準モデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0024	ST5000NM0084	ST4000NM0024	ST2000NM0024
SEDモデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0044 ³	—	ST4000NM0044 ³	ST2000NM0044 ³
SED-FIPSモデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0084 ^{3, 4}	—	—	—
機能				
湿度センサー	対応	対応	対応	対応
スーパー・バリディ	対応	対応	対応	対応
低ハロゲン	対応	対応	対応	対応
PowerChoice™ 技術	対応	対応	対応	対応
ホットプラグ対応 ⁶	対応	対応	対応	対応
マルチセグメント・キャッシュ (MB)	128	128	128	128
信頼性/データ保全性				
平均故障間隔 (MTBF) (時間)	140万	140万	140万	140万
24時間365日フル稼働時の年間故障率 (AFR)	0.63%	0.63%	0.63%	0.63%
回復不能読取りエラー率 (ビット読取りあたり)	10E15あたり1セクター	10E15あたり1セクター	10E15あたり1セクター	10E15あたり1セクター
年間通電時間	8,760 (24時間365日)	8,760 (24時間365日)	8,760 (24時間365日)	8,760 (24時間365日)
製品保証期間 (年数)	5	5	5	5
性能				
回転速度 (RPM)	7200	7200	7200	7200
インターフェイス・アクセス速度 (Gb/秒)	6.0, 3.0, 1.5	6.0, 3.0, 1.5	6.0, 3.0, 1.5	6.0, 3.0, 1.5
最大連続転送速度0D (MB/秒)	216	216	216	216
平均回転待ち時間 (ms)	4.16	4.16	4.16	4.16
インターフェイス・ポート	シングル	シングル	シングル	シングル
耐回転振動 @ 1,500Hz (rad/秒 ²)	12.5	12.5	12.5	12.5
消費電力				
アイドル時の平均消費電力 (W)	6.9	6.9	6.0	4.5
通常動作時のランダム読取り (W)	11.27	11.27	9.42	8.08
電源要件	+12Vおよび+5V	+12Vおよび+5V	+12Vおよび+5V	+12Vおよび+5V
動作環境				
動作時の温度範囲 (°C)	5~60	5~60	5~60	5~60
非動作時の耐振動性: 10Hz~500Hz (Grms)	5.0	5.0	5.0	5.0
耐衝撃性: 動作時, 2ms (読取り/書込み) (G)	70/40	70/40	70/40	70/40
耐衝撃性: 非動作時, 1msおよび2ms (G)	250	300	300	300
物理仕様				
高さ (インチ/mm, 最大) ⁶	1.028/26.1	1.028/26.1	1.028/26.1	1.028/26.1
幅 (インチ/mm, 最大) ⁶	4.010/101.85	4.010/101.85	4.010/101.85	4.010/101.85
奥行き (インチ/mm, 最大) ⁶	5.878/147.0	5.878/147.0	5.878/147.0	5.878/147.0
重量 (ポンド/g)	1.720/780	1.720/780	1.400/635	1.344/605
カートンあたりの数量	20	20	20	20
パレットあたりのカートン数	40	40	40	40
レイヤーあたりのカートン数	8	8	8	8

¹ ドライブの容量を示す場合、1ギガバイト (GB) は10億バイトに、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。

² Seagateでは、全容量を活用できるようにするために、貴社の設定をHBA/RAIDコントローラ・メーカーに検証していただくよう推奨しています。

³ 自己暗号化ドライブ (SED) およびFIPS 140-2 Validatedドライブは、モデルまたは国によってご利用いただけない場合があります。一部のモデルは、TCG準拠のホストまたはコントローラが必要となります。

⁴ FIPS 140-2は現在評価中です。以下で140-2レベル2証明をご参照ください: <http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/1401val2011.htm#1635>

⁵ これらのベース・デッキの寸法は、スモール・フォーム・ファクタ標準 (SFF-8201) に準拠しています。詳細は、www.sffcommittee.orgでご確認ください。コネクタ関連の寸法については、SFF-8223をご覧ください。

⁶ シリアルATA改訂版2.6仕様によりホットプラグ動作に対応しています。



12Gb/秒SAS仕様については次のページをご覧ください

Enterprise Capacity 3.5 HDD



仕様	12Gb/秒SAS		
	6TB ^{1, 2}	4TB ^{1, 2}	2TB ¹
標準モデル番号 (4Kネイティブ)	ST6000NM0014	—	—
標準モデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0034	ST4000NM0034	ST2000NM0034
SEDモデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0054 ³	ST4000NM0054 ³	ST2000NM0054 ³
SED-FIPSモデル番号 (512エミュレーション)	ST6000NM0104 ^{3, 4}	—	—
機能			
保護情報 (T10 DIF)	対応	対応	対応
湿度センサー	対応	対応	対応
スーパー・パリティ	対応	対応	対応
低ハロゲン	対応	対応	対応
PowerChoice™ 技術	対応	対応	対応
マルチセグメント・キャッシュ (MB)	128	128	128
信頼性/データ安全性			
平均故障間隔 (MTBF) (時間)	140万	140万	140万
24時間365日フル稼働時の年間故障率 (AFR)	0.63%	0.63%	0.63%
回復不能読取りエラー率 (ビット読取りあたり)	10E15あたり1セクター	10E15あたり1セクター	10E15あたり1セクター
年間通電時間	8,760 (24時間365日)	8,760 (24時間365日)	8,760 (24時間365日)
製品保証期間 (年数)	5	5	5
性能			
回転速度 (RPM)	7200	7200	7200
インターフェイス・アクセス速度 (Gb/秒)	12.0、6.0、3.0	12.0、6.0、3.0	12.0、6.0、3.0
最大連続転送速度OD (MB/秒)	最大226	最大226	最大226
平均回転待ち時間 (ms)	4.16	4.16	4.16
インターフェイス・ポート	デュアル	デュアル	デュアル
耐回転振動 @ 1,500Hz (rad/秒 ²)	12.5	12.5	12.5
消費電力			
アイドル時の平均消費電力 (W)	7.97	5.73	4.84
通常動作時のランダム読取り (W)	11.86	9.59	8.93
電源要件	+12Vおよび+5V	+12Vおよび+5V	+12Vおよび+5V
動作環境			
動作時の温度範囲 (°C)	5~60	5~60	5~60
非動作時の耐振動性: 10Hz~500Hz (Grms)	4.9	4.9	4.9
耐衝撃性: 動作時、2ms (読取り/書込み) (G)	70/40	70/40	70/40
耐衝撃性: 非動作時、1msおよび2ms (G)	250	300	300
物理仕様			
高さ (インチ/mm、最大) ⁵	1.028/26.1	1.028/26.1	1.028/26.1
幅 (インチ/mm、最大) ⁵	4.010/101.85	4.010/101.85	4.010/101.85
奥行き (インチ/mm、最大) ⁵	5.878/147.0	5.878/147.0	5.878/147.0
重量 (ポンド/g)	1.720/780	1.400/635	1.344/605
カートンあたりの数量	20	20	20
パレットあたりのカートン数	40	40	40
レイヤーあたりのカートン数	8	8	8

¹ ドライブの容量を示す場合、1ギガバイト (GB) は10億バイトに、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。

² Seagateでは、全容量を活用できるようにするために、貴社の設定をHBA/RAIDコントローラ・メーカーに検証していただくよう推奨しています。

³ 自己暗号化ドライブ (SED) およびFIPS 140-2 Validatedドライブは、モデルまたは国によってご利用いただけない場合があります。一部のモデルは、TCG準拠のホストまたはコントローラが必要となります。

⁴ FIPS 140-2は現在評価中です。以下で140-2レベル2証明をご参照ください: <http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/1401val2011.htm#1635>

⁵ これらのベース・デッキの寸法は、スモール・フォーム・ファクタ標準 (SFF-8201) に準拠しています。詳細は、www.sffcommittee.orgでご確認ください。コネクタ関連の寸法については、SFF-8223をご覧ください。



www.seagate.com

北アメリカ
 アジア/太平洋
 ヨーロッパ、中近東、およびアフリカ

Seagate Technology LLC 10200 South De Anza Boulevard, Cupertino, California 95014, United States, +1 408 658 1000
 Seagate Singapore International Headquarters Pte. Ltd. 7000 Ang Mo Kio Avenue 5, Singapore 569877, +65 6485 3888
 Seagate Technology SAS 16-18 rue du Dôme, 92100 Boulogne-Billancourt, France, +33 1 41 86 10 00

© 2014 Seagate Technology LLC. All rights reserved. Printed in USA. Seagate, Seagate Technology, およびWaveのロゴは、米国およびその他の国々におけるSeagate Technology LLCの登録商標です。PowerChoiceは、米国およびその他の国々におけるSeagate Technology LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。FIPSのロゴは、NISTの証明マークであり、NIST、米国政府、またはカナダ政府による製品推奨を示すものではありません。その他の商標または登録商標は各社の所有物です。ドライブの容量を示す場合、1ギガバイト (GB) は10億バイトに、1テラバイト (TB) は1兆バイトに相当します。コンピュータのオペレーティング・システムでは異なる測定基準が使用されている場合があります。容量が低く表示されることがあります。また、容量の一部はフォーマットやその他の機能に使用されるため、データの保存用には使用できません。実際のデータ転送速度は、動作環境およびその他の要素によって異なる場合があります。暗号化を含むハードウェア/ソフトウェアのエクスポート/再エクスポートには、米国商務省産業安全保障局(BIS)による規制が適用される場合があります (詳細は、www.bis.doc.govを参照してください)。また米国外への輸出または米国外での使用は規制される場合があります。製品内容または仕様は、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。DS1791.6-1406JP、2014年6月